

## ◆ 今週のコメント

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.44で、過去5年平均値(0.33)をやや上回っています。本年は、第32週(8月)を底(0.17)に、横ばい傾向が続いていますが、今後増加する可能性がありますのでご注意ください。
- ・ 百日咳の報告が1例(6ヶ月～11ヶ月)で、本年の累積報告数は27例です。年齢階級別にみると、6ヶ月～11ヶ月の9例が最も多く、1歳未満で48.2%を占めています。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(散発)です。本年の累積報告数は51例で、過去7年間(平成12年～18年)の同時期までの累積報告数と比べると、昨年と同じ報告数で、最も多くなっています。
- ・ マラリア(熱帯熱)の報告が1例で、本年の累積報告数は2例です。本感染症が全数報告対象となった平成11年4月以降の累積報告数は16例で、性別は、男13例、女3例で、年齢は20歳～39歳となっており、うち、20歳代は9例で56.3%を占めています。

## ◆ 今週のトピックス:〈感染性胃腸炎〉

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3.68で、先週(3.02)に比べて多く、過去5年平均値(3.36)をやや上回る値となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

## ◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・ 平成19年5月25日から始まった、京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

## ◆ 発生状況

## 全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 5例(喀痰塗抹陽性者なし)【今年度累積報告数 247例(喀痰塗抹陽性 77例)】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 1例
- ・ 四類:マラリア(熱帯熱) 1例
- ・ 五類:後天性免疫不全症候群(無症候期) 2例

## 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.68	151
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	18
	③ 突発性発しん	0.39	16
	④ 水痘	0.27	11
	⑤ ヘルパンギーナ	0.15	6
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.15	6
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

## 病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
RSウイルス(3)	下気道炎(39週) かぜ症候群(第40・41週)	NP

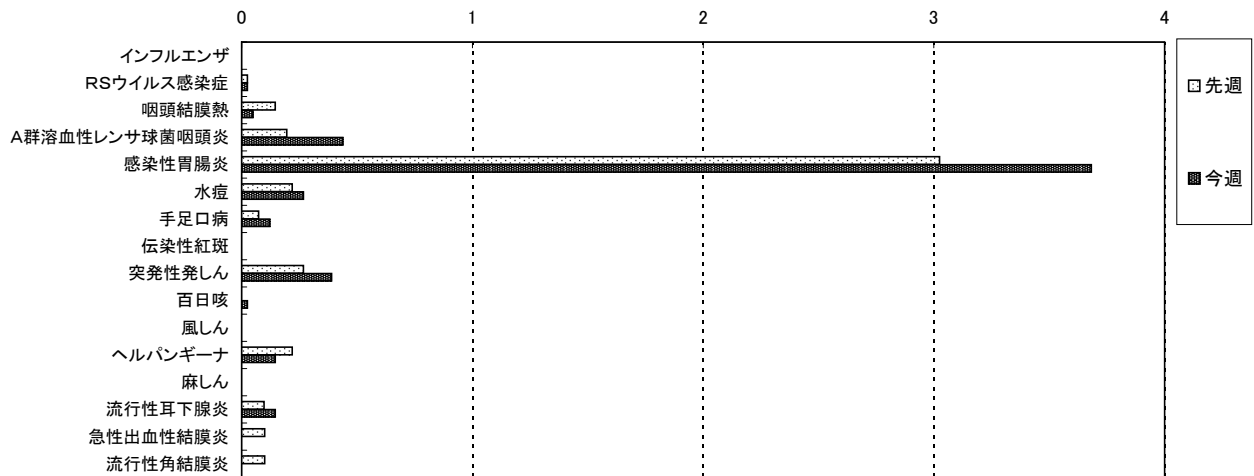
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈感染性胃腸炎〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

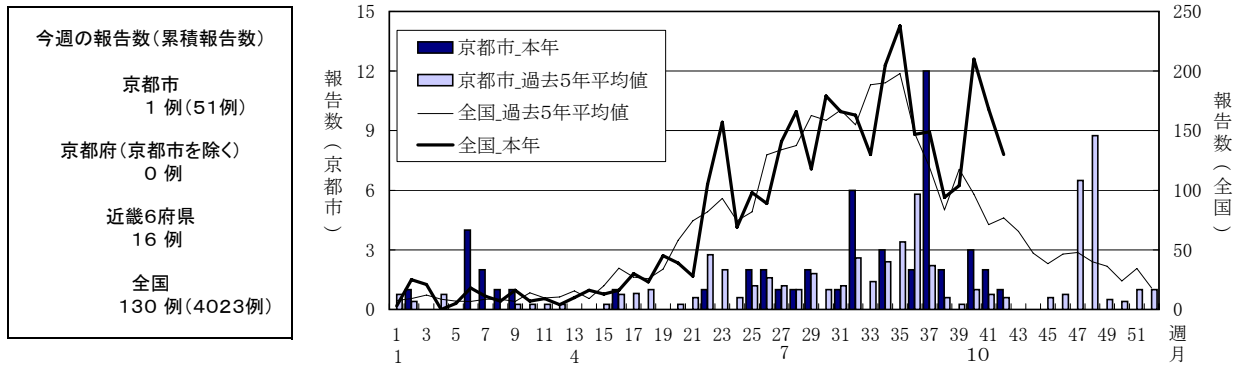
(注) 京都市のデータは、平成19年10月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第42週)と先週(第41週)の定点当たり報告数の比較

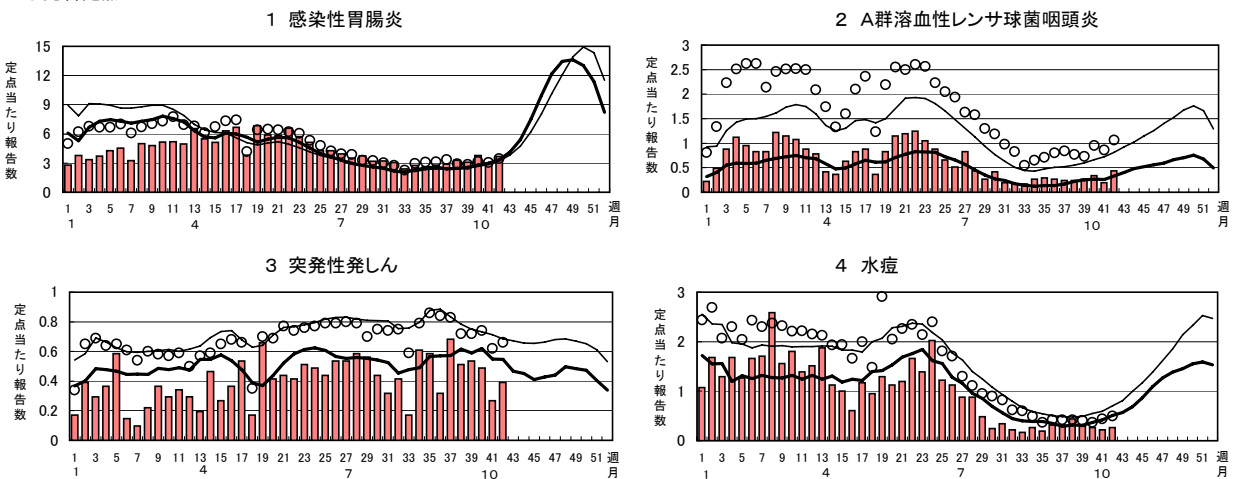


## 2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

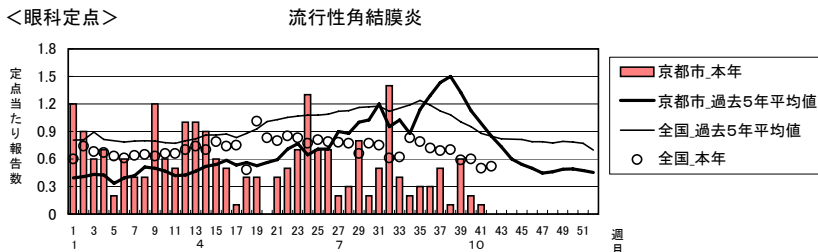


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 今週(第42週)のトピックス: <感染性胃腸炎>

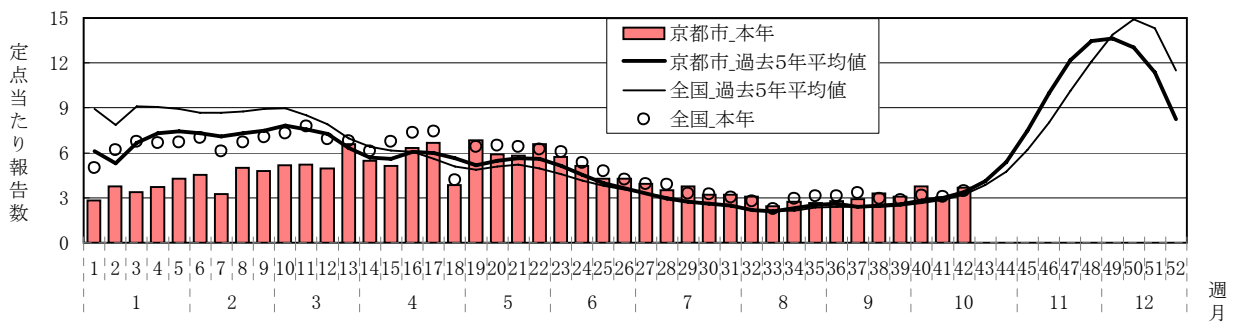
定点当たり報告数は3.68で、先週(3.02)に比べて多く、過去5年平均値(3.36)をやや上回る値となっています。

年齢階級別にみると、ほぼ前5週の平均値と同様の傾向で、20歳以上が最も多く、次いで6～11ヶ月及び1歳、10歳以上の順となっています。

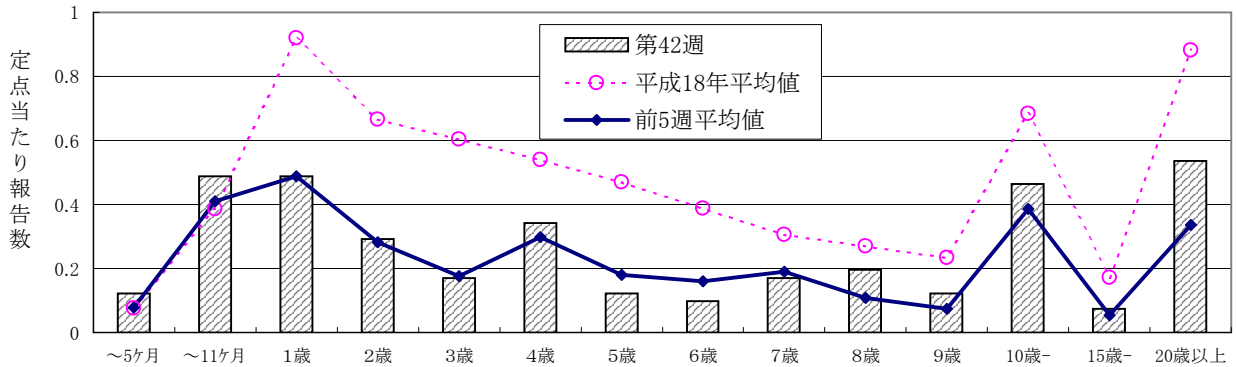
行政区別では、前5週の平均値に比べ、今週は、11行政区中8行政区と、過半数の行政区で多くなっています。

過去5年間平均値の推移をみると、今後急に増加する可能性がありますので、ご注意ください。

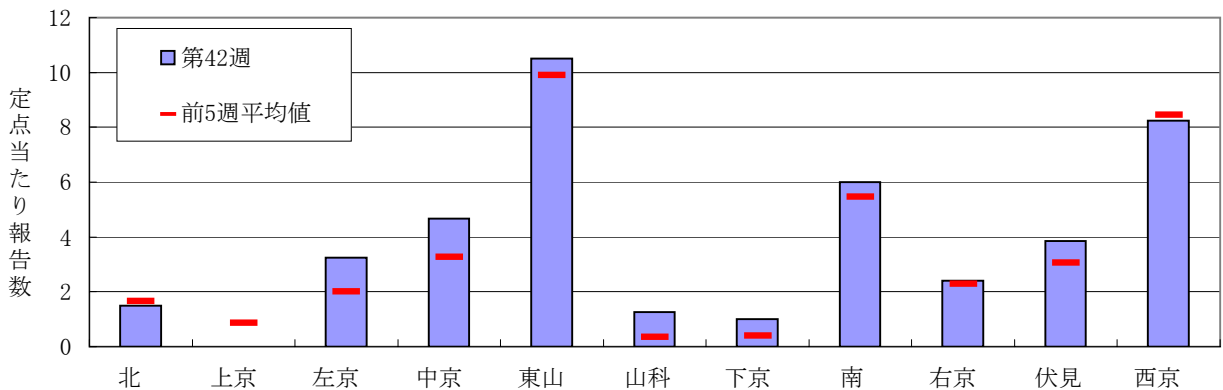
### 定点当たり報告数の推移



### 年齢階級別にみた定点当たり報告数



### 行政区別にみた定点当たり報告数



# 京都市麻しん全数発生報告

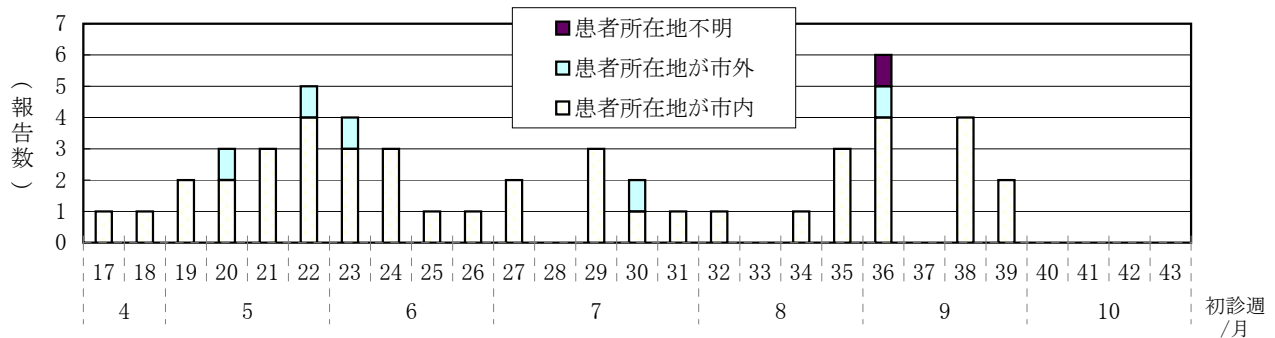
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から10月28日までの報告を初診週別に集計しています。

## 1 推移

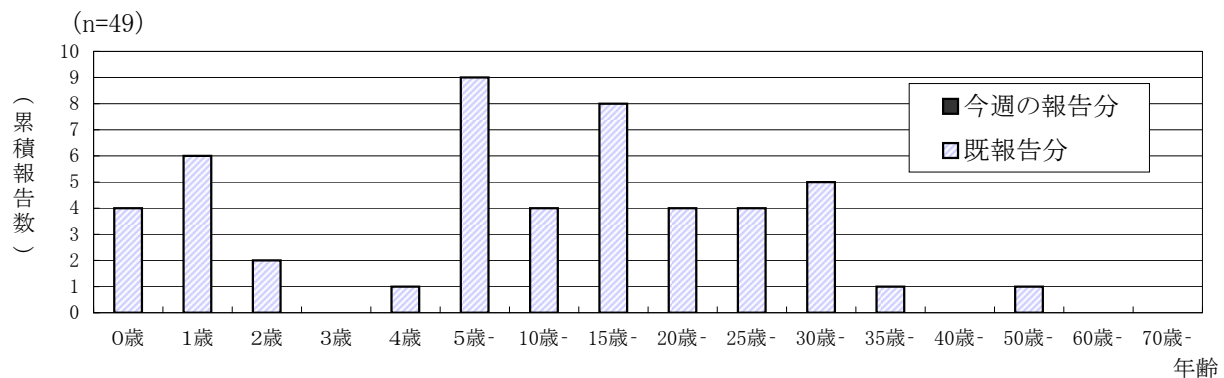
初診週	第39週	第40週	第41週	第42週	第43週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分	-	-	-	-	-	-
既報告分	2	-	-	-	-	49
合計	2	-	-	-	-	49

## 2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



## 3 年齢階級別



### <参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第42週

疾病,保健所別報告数

平成19年10月15日～平成19年10月21日

データ入手日:平成19年10月26日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	2	6	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	2	6	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	2	14	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	5	2	-	-	1	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	18	2	-	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	3	12	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	1	2	1	27	1	1	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	5	33	2	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	1	2	18	151	11	5	-	16	1	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	0.50	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.50	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.25	3.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.67	4.67	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	10.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	1.25	0.50	-	-	0.25	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	0.50	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	6.00	0.67	-	-	1.00	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	0.60	2.40	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.14	0.29	0.14	3.86	0.14	0.14	-	0.29	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1.25	8.25	0.50	-	-	1.25	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.02	0.05	0.44	3.68	0.27	0.12	-	0.39	0.02	-	0.15	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第42週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年10月15日～平成19年10月21日

データ入手日:平成19年10月26日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	18	1	-	-	-	2	1	2	1	3	3	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	151	5	20	20	12	7	14	5	4	7	8	5	19	3	22	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	11	-	2	4	1	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	5	-	-	1	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	16	-	9	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	6	-	1	1	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	6	-	-	-	1	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.44	0.02	-	-	-	0.05	0.02	0.05	0.02	0.07	0.07	-	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.68	0.12	0.49	0.49	0.29	0.17	0.34	0.12	0.10	0.17	0.20	0.12	0.46	0.07	0.54	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.27	-	0.05	0.10	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.12	-	-	0.02	0.02	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.39	-	0.22	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.15	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.15	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第42週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年10月26日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	1	1	1
咽頭結膜熱	5	8	5	4	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	10	11	14	8	18
感染性胃腸炎	119	135	127	155	124	151
水痘	13	18	12	11	9	11
手足口病	5	3	7	2	3	5
伝染性紅斑	3	-	-	2	-	-
突発性発しん	28	21	22	20	11	16
百日咳	-	-	-	-	-	1
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	9	8	6	9	6
麻しん (※)	-	1	3	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	4	6	3	4	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	1	-
流行性角結膜炎	5	1	6	2	1	-
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	218	210	207	220	177	217

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	0.02	0.02	0.02
咽頭結膜熱	0.12	0.20	0.12	0.10	0.15	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	0.24	0.27	0.34	0.20	0.44
感染性胃腸炎	2.90	3.29	3.10	3.78	3.02	3.68
水痘	0.32	0.44	0.29	0.27	0.22	0.27
手足口病	0.12	0.07	0.17	0.05	0.07	0.12
伝染性紅斑	0.07	-	-	0.05	-	-
突発性発しん	0.68	0.51	0.54	0.49	0.27	0.39
百日咳	-	-	-	-	-	0.02
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.59	0.22	0.20	0.15	0.22	0.15
麻しん (※)	-	0.02	0.07	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.10	0.15	0.07	0.10	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.10	-
流行性角結膜炎	0.50	0.10	0.60	0.20	0.10	-
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	5.70	5.20	5.50	5.52	4.47	5.29

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。